鎧橋随想

先物の理解者を増やす

岡安商事会長
岡本　昭

人も業界もそうで、広く外と接し交際を深めないと大きくなれません。いまでも、全日本学生なぎなた連盟副会長などスポーツ団体の役職を務め、大阪商工会議所の議員の席にあるのは、商品先物業界についての理解者を一人でも多く増やそうと思っているからです。

これは、大阪証券取引所のある有力者と顔をあわせたときのことです。関西経済が沈下し、抱える悩みは変わりません。議論が、将来のことだが、商品も証券も一つに束ねた市場にならないと…へ。期せずしてお互いがうなずいていました。

関西商取同友会の代表幹事、大阪三品協会の会長を務めていますので、両団体合同で六月、欧州取引所視察研修旅行に出かけました。商品先物取引所のルーツのブリュージュ（ベルギー）のヴァン・デ・ブルス邸、オランダのアムステルダム取引所を訪れました。小さな取引所ですが、商品、証券の二つが看板で、時代の流れを改めて実感させられました。

遠い将来は別として、いまの大阪の商品先物市場は昔日のおもかげがありません。基盤を再構築し、精気を吹き込むのが緊急課題です。強くなれば展望が開け、時代の流れにも乗れます。私を育ててくれた大阪市場の活性化には、今後とも労を惜しまないつもりです。

明るい将来に向かって

第一商品会長
村崎　稔

商品先物業界にとって今ほど問題が山積している時代はなかったかもしれません。社会常識と業界の価値観、感覚がかみ合わない部分があって、社会的信頼度は低いままですし、価格操作、市場管理などの点で取引所も信頼を欠いている面があります。

普通の人にとって商品先物取引をやらなければならない理由はありません。しかし、一般投資家がいないと市場は機能しません。そこで相手中心に考えて、心配する点や不利な部分を明らかにし、誠意あるサービスなどによって業界が歩み寄って社会のまん中に立てるようにしなければいけません。

将来に向かって明るい希望が持てる指針、計画、構想を、具体的に、はっきり分かる形でつくり上げ、懸命に努力することが大切です。この役割を商品先物振興協会に期待しています。場合によっては役所にも他の団体にもはっきり物を言うぐらいの意気込みが必要でしょう。

なにしろ、振興協会は任意団体ですからフリーハンドです。市場振興、取引拡大などのためなら、なんでもできます。この、先物協会ニュースも単なる連絡簿ではなく、明るい業界指針のためになるものにしてほしいと願っています。

がんばれ、ジェフ市原

明治物産社長
鈴木　敏夫

Jリーグ、ジェフ市原のホームタウン、千葉県市原市は私の祖父のころからの鈴木家のホームタウンでもあります。高校時代にサッカーをやっていたこともあって、ジェフ市原のファンクラブには最初から入って応援してきました。

その市原が昨年までは三年ほど下位に低迷していて、J2降格争いをするような状態でしたが、今シーズンは第一ステージで二位、後半の第二ステージでも上位で頑張っています。

今年初めには、昨シーズンの主力選手を大量に放出したので、それなりにいい選手を補充したとはいえ、今シーズンは最下位になるのでは—という見方が有力でした。それが、思わぬ快進撃で応援のしがいがあります。

なぜ強くなったのか。韓国人のすごいフォワードが一人いるほかは、外国人を含め大した選手はいません。昨シーズン後半から指揮をとっている外国人監督の戦術が浸透したこともあるでしょうが、補充した選手と残った選手がうまくかみ合ってチームプレーがうまくいくようになったことが大きいでしょう。

また、パス回しなど基本をぴしっとやっています。やり方によっては勝ち抜けるという典型例で、経営的にも考えさせられます。

WTC79階

岡藤商事社長
加藤　雅一

九月十一日夜、金融関係の人と都内で会合があって、たまたま、ワールド・トレード・センター（WTC）の広場での金曜午後の雑談、バスケットなどの思い出話をアメリカ人をまじえてしていました。それが午後十時少し前に終わって、車で自宅に帰る時にラジオの臨時ニュースで、世界貿易センターの旅客機テロの報が飛び込んできました。

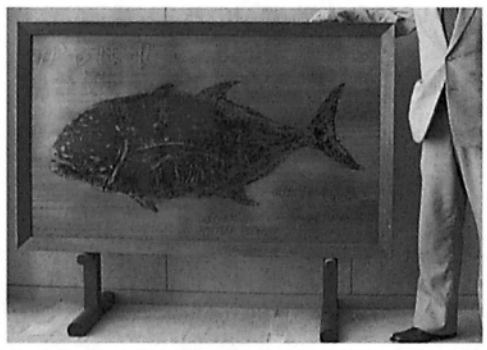
自宅でテレビでみると、一機目の旅客機が突っ込んだビルの七十九階に当社の現地法人、オカトー・インターナショナル（USA）があり、激突した場所がそのオフィスに非常に近いところのように見えました。

ビルが倒壊した時、私は会社と電話連絡していて、そのシーンを見ていません。テレビを振り返った時、あったはずのものがありません。恐怖心とともに、とてつもない怒りと憤りを感じました。何度も行って仕事したところですし、現実のこととして受け止められず、異常なことを口走っていたようです。

午前零時ごろ出社、明け方には現地法人四名（社長と現地採用の日本人女性三名）の無事が確認でき、一安心しましたが、内部は凄絶な状況だったようです。今度の事件は感情移入がありすぎ、本当にまいりました。

珍品拝見

魚拓は釣り人の勲章なり



エース交易会長
榊原秀雄

榊原さんは磯釣りにはまり込み、大物を狙って血眼になった時期がある。ちょうど二十年前、昭和五十六年五月八日、あじ科の超大物「かっぽれ」を釣り上げ、狂喜した。

全長一・二二メートル、重量二十六・五キロ。場所は南西諸島の諏訪之瀬島。屋久島と沖縄の中間にある秘島である。

かつて、二〇〇キロのサメと格闘した経歴を持つ榊原さんだが、この日、「かっぽれ」とファイトすること三十分、ついに仕止めた時の感動は今も体にしみついているそうだ。社員寮に持ち帰り、刺し身にすると、優に五十人前、社員たちは会長の釣果談義をたっぷり聞かされたことだろう。

磯釣りのダイゴ味は大物たちとの「ファイト」の時間帯にあるという。

「昔、釣り仲間に堅本重美さんというひとがいて、『浅草釣天狗会』で横綱を張ったこともある名人でした。釣りは、ヘラに始まり、ヘラに終わる、と口癖のように言っていましたが、一度磯釣りに一緒に行って、大物釣りを味わうと魅了されてしまいましたよ」

榊原さんは海釣りや川釣りはやらない。磯釣り一本である。

榊原さんによると、釣りの魅力は「いつかかるか分からない魚を求めて、一瞬たりとも気が抜けない緊張感」にあるという。そして、どのような「仕掛け」で対決するかを研究しなければならない。

榊原さんの部屋には十数枚の魚拓が秘蔵されている。

「魚拓は釣り人の勲章です」と力説する榊原さん。その中の逸品である冒頭の「かっぽれ」を銅板に仕上げ、会長応接室に鎮座ましまし、訪れるひとを驚かし続けている。

好評のうちに十年

東穀寄席とコンサート

▽…テンツク、テンテンと出ばやしがにぎやかに響く日もあれば、フルートの優雅な調べが流れる日もある。東京穀物商品取引所が十年前から始めた東穀寄席（若手落語家勉強会）と、東穀コンサートの人気が高い。寄席とコンサートを交互に毎月一回、金曜日に開いているが、いつも百六十人ほどの観客があって「満員御礼」が続いている。

▽…取引員の場立ちが電話のイヤホンを付けて、にぎやかに手ぶりで取引していた立会場が、コンピューター利用のシステム取引に変わったことで、ホールに生まれ変わった。もともと天井が高く、音の通りも良く、ホールにぴったりだった。

▽…寄席は、若手中心だが、時には真打ち、大御所も登場する。コンサートはピアノ、フルート、ヴァイオリンなどの二重奏、三重奏。一年に一回はシャンソンの夕べもある。午後六時開演で、終演は同七時半ごろ。新聞、タウン誌、地下鉄広告にお知らせを出しており、葉書応募で抽選。来場した人ですぐ次回の申し込みをする人も多い。入場料は無料。地域貢献の役割を十分に果たしている。

◆事務局だより◆

新種のコンピュータウイルスが猛威を振るっていますが、『先物協会ニュースJCFIAマンスリー』創刊号の発行準備の最中、当先物協会でも別種のウイルスに感染し、感染したパソコンが一日中使えなくなりました。ご多分に洩れず、電子メールの添付ファイルが原因です。皆さん、文字化けしているとか、おかしなファイルは好奇心をもって開かず、削除しましょう。

証言・戦後先物史

東京金取引所の誕生（上）

語る人・豊商事会長　多々良義成

安倍晋太郎氏の功績

安倍氏

——東京金取引所（現東京工業品取引所貴金属市場）ができて、来春は二十周年になります。当時、多々良さんは全国商品取引員協会連合会（全協連）の会長として、取引所づくりの先頭に立っておられた。

多々良　金取引所ができたのは、一にも、二にも故安倍晋太郎さんの功績だと思います。当時安倍さんは自民党の政調会長であるばかりか、有力な総裁候補でしたからね。そのひとが金の取引所をつくろうと決断されたわけです。

金は昭和四十八年に輸入が自由化され、五年後の同五十三年には輸出も自由化、これで四十七年ぶりに完全な自由の身になった。五十三年七月には、全協連でいち早く通産大臣に金上場について陳情書を提出するが、時期尚早と認めてくれない。一方で、いかがわしい業者が先物取引まがいの手口で顧客をだまし、被害が続出する。彼らは俗に「ブラック」と称ばれ、「延べ取引」とか「予約取引」とか称して先物取引と似たようなことをやっていた。

——そんな時、歴史に名高い商取法第八条（何人も先物取引をする商品市場に類似する施設を開設してはならない）の逆転解釈が出る。

多々良　昭和五十五年四月二十六日、松浦利尚衆院議員（社）の質問主意書に答えて、内閣法制局が「商取法第八条は先物市場に上場されている商品にだけ適用される」との見解を示した。これでブラックがホワイトに一変した。ブラック業者が跳梁跋扈して被害者の死屍累々という状況を呈した。当時は全国で十市場四百業者が横行していたといわれるくらいです。

——正規の業者には青天の霹靂、ブラック業者は青天白日、大威張りで先物取引ができるようになった。こうなると金の取引所設立が急がれる。

多々良　逆転解釈から間もない夏の終わり、その日は北辰グループの総帥北内正男さんの長女の結婚式で安倍さんも同郷のよしみで出席されていた。その夜、銀座のクラブ「醍醐」だったと思うが、安倍さんと落ち合い、金市場の惨状を放置するのは政治の怠慢です、金取引所を一刻も早く立ち上げたいと訴えると、安倍さんも同意見だとおっしゃってくれた。（つづく）